



ざんぐり



京都SKY大学
同窓研修会会誌
第104号

春の屋外行事、中止のお詫び

3月15日発行のざんぐり103号で、「春の屋外行事へのお誘い」を募集しましたところ、多くの皆様から参加の申し込みをいただき、ありがとうございました。

ところが、4月12日の新型コロナウイルス「まん延防止等重点措置」、引き続き4月25日～5月11日の間、「緊急事態宣言」が発出（その後、6月20日まで再延長）されたことを受け、4月12日の「長岡京を巡る、春のウォーキング」、5月14日の「大山崎町を巡る、春の地域活動」、5月21日の「明日香村を巡る、春のバス研修旅行」のすべてを、中止いたしました。

久し振りに友達に出会えることを楽しみにしておられた皆様には、ご迷惑をおかけして、誠に申し訳ございません。深くお詫び申し上げます。

新型コロナウイルス禍が収束に向かい、屋外行事が再開できることを願っています。その際は、ふるってご参加を！
(ざんぐり編集委員会)



一 目 次

春の屋外行事、中止のお詫び

通常総会	会長退任のご挨拶	沖野一晃(2)
	会長就任のご挨拶	井上昌幸(3)
	令和3年度 役員名簿	(4)
	令和元年度 収支決算報告書	(5)
	令和3年度 業務計画 事業計画	(6)
	令和3年度 収支予算	(7)
	通常総会と	
	講演会「ブラックホール研究の今」に出席して	伊勢田龍雄(8)
投稿	都市名に違和感あり	権藤隆洋(9)
事務局だより		(10)

発行 / 京都SKY大学同窓研修会
編集 / ざんぐり編集委員会



会長退任のご挨拶

沖野 一 晃

京都S K Y大学同窓研修会の皆様には、新型コロナウイルス渦の中ではありますが、ご健勝にお過ごしのことと拝察申し上げます。平素は同窓研修会の運営や活動に多くのご支援・ご協力を賜りありがたく、心より御礼申し上げます。

私、去る4月23日の令和3年度通常総会を持ちまして、同窓研修会の会長を退任させて頂きました。3年7ヶ月の在任中は、皆様方の温かいご支援を賜りありがとうございますございました。お陰を持ちまして会長職を務めることが出来ました。厚く御礼申し上げます。

平成17年に理事に就任、以来16年あまり多くの心に残る活動をさせて頂いたこと、多くの方との出会いに恵まれたことに、心より感謝申し上げます。

S K Y大学では、多くのコースでの学び、運営員としての協力活動、同窓研修会では何度かの創立記念行事開催と懇親会、バス研修旅行、合同ウォーキング活動、地域活動、講演会、等々を通じて、楽しみと学びと成長を実感できましたことにうれしさを感じています。同窓研修会の会員を継続し、楽しみのある生活を続けていきたいと思っています。

残念ながら令和2年以来、新型コロナウイルスの影響で、多くの行事が開催できなかったこと、緊急事態に対応するためやむを得ず会計年度の変更を紙上総会にせざるを得なかったこと等、大変申し訳なかったと、心からお詫び申し上げます。

進む高齢化社会においては、同窓研修会の存在価値は益々高まって参ります。皆様のご支援を頂いて一段と飛躍を果たす同窓研修会になりますことを心より願ひまして、退任のご挨拶と致します。





会長就任のご挨拶

井上昌幸

京都S K Y大学同窓研修会の会員の皆様には、平素から、会の運営や活動に多くのご支援・ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

去る4月23日開催の令和3年度通常総会におきまして、沖野会長の後を受け、第8代会長を務めさせて頂くことになりました。何分にも未熟ではございますが、精一杯の努力を致す所存でございます。また、3名の副会長、13名の理事共々、心を合わせて取り組んで参りますので、温かいご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

今更申し上げるまでもなく、本会は会員皆様方の自主活動を通じて、教養を身につけ、相互の親睦を図り、生きがいと健康作りをもって、生涯学習に励むことを目的に設立されています。これらの事業活動を益々充実したものとするためには、会員の皆様方のご支援が必要であります。更に重要なのは、皆様方からの積極的なご意見を頂くことです。是非、皆様のご意見をお聞かせください。前進に向けて積極的に取り組んで参りますので、よろしくお願い申し上げます。

先の総会では、今年度の事業計画、業務計画、予算を承認して頂きましたが、新型コロナウイルスの終息が見通せない状態であります。このような状況では、各種の事業を計画通りに実施するには無理な事態が発生するのでは、と懸念されます。皆様方の安全・安心を第一に各種の行事を行ってまいりますが、中止を含めて、計画の見直しを臨機応変に対応していきたいと考えています。その際にご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、ご了承の程、よろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの終息が見通せない中、くれぐれも皆様方、ご家族の方、ご自愛頂きますようお願いいたします。

なにとぞ、前任の沖野会長同様に格別のご指導・ご支援を賜ります様、お願い申し上げます。

令和3年度SKY大学同窓研修会役員名簿

役職名	氏名	担当部門
会長	井上 昌幸	
副会長	北村 哲夫	事業部 研修旅行 会員業務
	山本 建三	業務部 地域活動
	米澤 可矢	総務部 健康福祉
理事	伊勢田 龍雄	地域活動
	岩本 照美	研修講座
	木村 高志	総務 健康福祉
	小島 哲三	研修旅行 会員業務
	小林 静枝	健康福祉 ざんぐり編集
	関矢 幸子	総務 ざんぐり編集
	寺田 泰三	研修講座 (新任)
	西崎 久美子	研修旅行 地域活動
	西峯 順子	総務 会員業務
	保知 保	研修旅行 会員業務 ざんぐり編集
	村田 潤子	会計 研修旅行 ざんぐり編集
	吉田 進	研修旅行
	吉村 辰江	研修講座 会員業務
相談役	沖野 一晃	(新任)

フェスティバル委員：北村 哲夫、山本 建三、木村 高志、関矢 幸子

監事	北林 秀子	
	中野 京子	(新任)
	堀井 信一	

令和3年度SKY大学運営員名簿

コース	氏名
歴彩・京都学	岩本 照美 北村 哲夫 西峯 順子
体験・地域活動	西崎久美子 木村 高志 吉村 辰江
知力・情報社会	小島 哲三 小林 静枝
健康・スポーツ	米澤 可矢 伊勢田龍雄 寺田 泰三
京都見聞	井上 昌幸 関矢 幸子 保知 保
	村田 潤子 山本 建三 吉田 進

令和元年度 収支決算報告書

自 令和元年9月1日

至 令和3年3月31日

(単位：円)

<収入の部>

科 目	予 算 額 (A)	実 績 額 (B)	対予算残 (A - B)	摘 要
会 費 収 入	900,000	840,000	60,000	会費 一人2,000円 420名
事業負担金収入	1,920,000	992,000	928,000	バス見学研修旅行会費 年2回
雑 収 入	0	5	-5	預金利息
前年度繰越金	211,057	211,057	0	
収 入 合 計	3,031,057	2,043,062	987,995	

<支出の部>

科 目	予 算 額 (A)	実 績 額 (B)	対予算残 (A - B)	摘 要
事 業 費	2,360,000	1,274,596	1,085,404	
バス見学研修費	2,040,000	1,078,548	961,452	バス見学研修旅行費用 年2回
(実質支出額)	(120,000)	(86,548)	(33,452)	(バス見学研修費 - 事業負担金収入)
会 誌 発 行 費	160,000	146,122	13,878	会誌「ざんぐり」発行費用 年3回
歩 こう 会 経 費	40,000	20,488	19,512	団体行動経費(拝観料、保険等) 年1回
地 域 奉 仕 活 動 費	40,000	21,121	18,879	地域奉仕活動経費(拝観料、保険等) 年1回
講 演 会 費	50,000	0	50,000	SKY センター共催講演会分担額
SKYフェスティバル関係費	30,000	8,317	21,683	SKY ふれあいフェスティバル出展準備費
会 議 費	190,000	232,730	-42,730	
総 会 費	90,000	124,450	-34,450	会場費、総会議案承認出欠返信用はがき、講師謝礼
そ の 他 会 議 費	100,000	108,280	-8,280	理事会会議室使用料、理事活動補助金、福祉行事保険料
管 理 運 営 費	315,000	374,799	-59,799	
通 信 運 搬 費	150,000	206,683	-56,683	会誌・行事案内等発送費、郵便代
支 払 手 数 料	40,000	54,366	-14,366	郵便振替払込手数料
消 耗 品 費	50,000	45,441	4,559	発送用封筒、宛名ラベル、名刺、事務用品等
印 刷 費	50,000	58,049	-8,049	印刷機・コピー機使用料
雑 費	15,000	10,260	4,740	
予 備 費	10,000	0	10,000	
支 出 合 計	2,865,000	1,882,125	982,875	

次年度繰越金	166,057	160,937	
--------	---------	---------	--

令和3年度 業務計画

令和3年4月23日

部門	業務内容	人数																																				
大学業務	1. 同窓研修会会員対象 「企画・運営員による企画及び運営」 ①京都見聞コース(座学1回、現地研修19回) ・見聞セミナー「仏像の話」 小嶋一郎 先生 ・醍醐寺・三宝院 ・泉涌寺・雲龍院 ・建仁寺 ・松尾大社 ・智積院 ・天龍寺 ・高台寺・圓徳院 ・石清水八幡宮 ・鞍馬寺 ・南禅寺 ・三千院・勝林寺 ・知恩院 ・仁和寺 ・大徳寺 ・平安神宮 ・金戒光明寺 ・バス研修旅行(京都府南部) ・木乃婦(京料理賞味体験) ・コース会(聖護院御殿荘)	企画・運営員 6名 令和3年度受講者 80名																																				
	②見聞コース収支(令和3年度分) (単位:円)																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">収 入</th> <th colspan="2">支 出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SKYセンター支給運営資金</td> <td>2,000,000</td> <td>研修費</td> <td>2,845,000</td> </tr> <tr> <td>研修参加費(京料理賞味体験)</td> <td>375,000</td> <td>資料郵送代</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>研修参加費(バス研修旅行)</td> <td>525,000</td> <td>資料コピー代</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>研修参加費(コース会)</td> <td>375,000</td> <td>事務用品</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>預金利息</td> <td>0</td> <td>受講生保険料</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人件費</td> <td>300,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3,275,000</td> <td>合 計</td> <td>3,275,000</td> </tr> <tr> <td>前年度繰越余剰金 672,747</td> <td>本年度余剰金 0</td> <td>次年度繰越余剰金 672,747</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	収 入		支 出		SKYセンター支給運営資金	2,000,000	研修費	2,845,000	研修参加費(京料理賞味体験)	375,000	資料郵送代	20,000	研修参加費(バス研修旅行)	525,000	資料コピー代	50,000	研修参加費(コース会)	375,000	事務用品	30,000	預金利息	0	受講生保険料	30,000			人件費	300,000	合 計	3,275,000	合 計	3,275,000	前年度繰越余剰金 672,747	本年度余剰金 0	次年度繰越余剰金 672,747		
	収 入		支 出																																			
SKYセンター支給運営資金	2,000,000	研修費	2,845,000																																			
研修参加費(京料理賞味体験)	375,000	資料郵送代	20,000																																			
研修参加費(バス研修旅行)	525,000	資料コピー代	50,000																																			
研修参加費(コース会)	375,000	事務用品	30,000																																			
預金利息	0	受講生保険料	30,000																																			
		人件費	300,000																																			
合 計	3,275,000	合 計	3,275,000																																			
前年度繰越余剰金 672,747	本年度余剰金 0	次年度繰越余剰金 672,747																																				
2. 一般対象「運営員による、運営協力」 ①歴史・京都学コース ②健康・スポレクコース ③体験・地域活動コース ④知力・情報社会コース	運営員 11名 令和3年度受講者 ①229名 ②50名 ③50名 ④78名 合計407名																																					
会員業務	1. 会員募集 2. 会員の入会・退会管理、会員名簿の作成・管理 3. 会員宛通達文書・連絡文書の発送	令和3年度会員 目標 400名 (4月23日現在366名)																																				

令和3年度 事業計画

令和3年4月23日

部門	事業内容
研修講座	①令和3年4月23日(金)「ブラックホール研究の今」 (通常総会講演会) 講師:京都大学教授 嶺重 慎 先生 会場:ハートピア京都3F 大会議室 ②③④京都SKYセンターとの共催講演会を検討中
研修旅行 (3回/年)	①令和3年5月21日(金) 春季 バス研修旅行 (*) 「悠久の歴史を訪ねて、明日香村周遊」 ②令和3年10月 秋季 バス研修旅行 詳細検討中 ③令和4年1月 新春初詣 バス研修旅行 詳細検討中
健康福祉	①ウォーキング ・令和3年4月12日(月)「春のウォーキング」 (*) 「明智光秀最後の城・勝竜寺城、恵解山古墳、長岡天満宮」 ・令和3年10月 「秋のウォーキング」 詳細検討中 ②目標歩数歩こう会 ・第45回 令和3年4月1日～5月31日迄 ・第46回 令和3年10月1日～11月30日迄
地域活動 (2回/年)	①令和3年5月14日(金) 「春季地域美化活動」 (*) JR山崎駅より天王山山麓 宝積寺(宝寺)、観音寺(山崎聖天)の清掃活動 ②令和3年10月 「秋季地域美化活動」 詳細検討中

(*) 新型コロナウイルス禍のため、急遽計画を中止した。

令和3年度 収支予算

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

〈収入の部〉

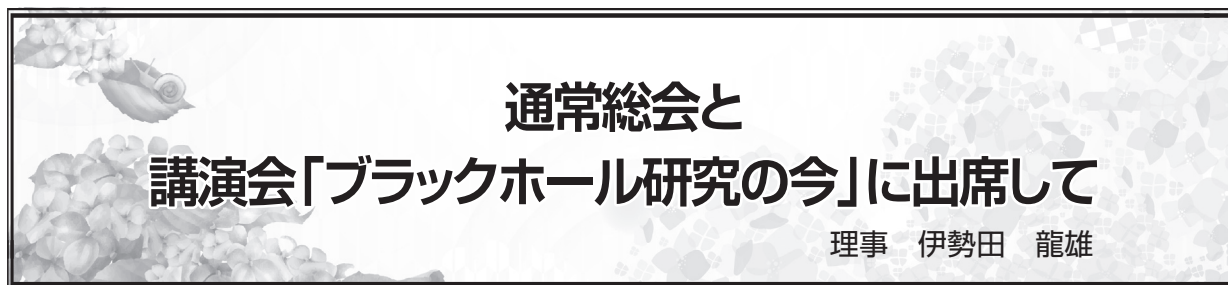
(単位：円)

科 目	前年度予算	前年度実績	今年度予算	摘 要
会 費 収 入	900,000	840,000	800,000	令和3年度会費 一人2,000円 400名
事業負担金収入	1,920,000	992,000	1,500,000	バス見学研修旅行年3回 10,000円×50名
雑 収 入	0	5	0	
前年度繰越金	211,057	211,057	160,937	
収 入 合 計	3,031,057	2,043,062	2,460,937	

〈支出の部〉

科 目	前年度予算	前年度実績	今年度予算	摘 要
事 業 費	2,360,000	1,274,596	1,750,000	
バス見学研修費	2,040,000	1,078,548	1,500,000	バス見学研修旅行費用 年3回
(実質支出額)	(120,000)	(86,548)	0	(バス見学研修費 - 事業負担金収入)
会 誌 発 行 費	160,000	146,122	120,000	会誌「ざんぐり」発行費用
歩 こう 会 経 費	40,000	20,488	30,000	団体行動経費(拝観料、保険等) 年2回
地域奉仕活動費	40,000	21,121	30,000	地域奉仕活動経費(拝観料、保険等) 年2回
講 演 会 費	50,000	0	50,000	SKYセンター共催講演会費
SKYフェスティバル関係費	30,000	8,317	20,000	SKYふれあいフェスティバル出展経費
会 議 費	190,000	232,730	170,000	
総 会 費	90,000	124,450	100,000	会場費、総会出欠返信用はがき、講師謝礼
その他会議費	100,000	108,280	70,000	理事会等会議室使用料、理事活動補助金
管理運営費	315,000	374,799	390,000	
通 信 運 搬 費	150,000	206,683	140,000	会誌・行事案内等発送費、郵便代
支 払 手 数 料	40,000	54,366	50,000	郵便振替払込手数料(会費)
消 耗 品 費	50,000	45,441	40,000	宛名ラベル、封筒、事務用品等
印 刷 費	50,000	58,049	40,000	印刷機・コピー機使用料
雑 費	15,000	10,260	10,000	会計監査会場費、お茶代等
予 備 費	10,000	0	110,000	
支 出 合 計	2,865,000	1,882,125	2,310,000	

次年度繰越金	166,057	160,937	150,937
--------	---------	---------	---------



京都S K Y大学同窓研修会の通常総会が、令和3年4月23日(金)13時15分から、ハートピア京都3階の大会議室にて、80名の会員を迎えて開催されました。なお、欠席者の委任状数は204名でした。新型コロナウイルス禍が収束しない中、その対策として、会場の参加人数を制限し、消毒・検温を実施した通常総会でした。

会長、来賓の挨拶の後、令和元年度の事業報告、業務報告、収支決算報告、会計監査報告があり、続いて、令和3年度の事業計画、業務計画、収支予算の報告がありました。質疑応答の後、原案通り承認されました。続いて、退任役員と役員候補の報告があり、承認されました。

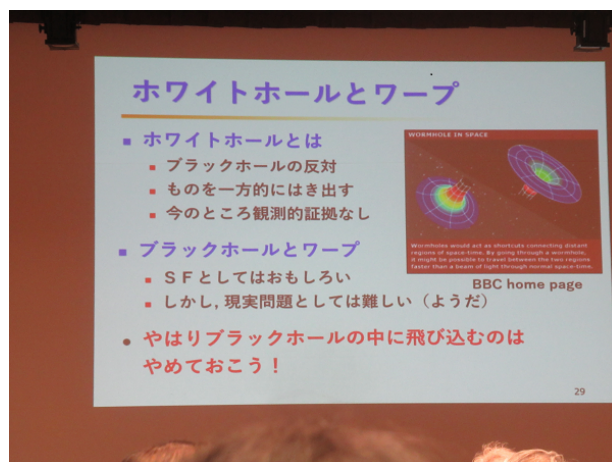
通常総会を終え、休憩を挟んで、京都大学・嶺重慎教授による「ブラックホール研究

の今」という演目で講演をしていただきました。嶺重教授は「京大変人」にも選ばれ、著書も多数出版されています。ブラックホールは想像でしかなく、昔はアインシュタインは「変人」であったが、その後、実証で裏付けられたそうです。参加者はブラックホールの話に興味深々、あっという間の講演時間でした。おまけの太陽系以外の星の話、太陽系惑星の火星・木星・金星の話が、参加者を最も引き付けた時間でした。

なお、2020年に、京都大学岡山天文台に完成した3.8m光赤外(分割鏡)望遠鏡「せいめい」の名前は、平安時代の陰陽師で天文博士の「安倍晴明」にちなんで名付けられたとのこと。 「せいめい」望遠鏡による太陽系外惑星の探査は、宇宙における「生命」の探索・研究につながっています。



講演会の様子



「ホワイトホールとワープ」



都市名に違和感あり

権藤 隆洋

高知県に「四万十市」が存在するが、同じ県内に「四万十町」があってややこしい。しかも隣り合わせで余計紛らわしい。実体は「四万十市」が半年ほど早いとのこと。似たような例は北海道「釧路市」と「釧路町」、および福井県にも「越前市」と「越前町」が存在し他府県人は混乱する。また、福島県「相馬市」と「南相馬市」、新潟県「魚沼市」と「南魚沼市」、長崎県「島原市」と「南島原市」の関係も同様である。また、熊本県「天草市」と「上天草市」も似たようなもの。

しかし、全国には「何だこりゃ」という違和感ありの都市名が多くあるので調べてみた。大阪人は「東大阪市」や「大東市」「阪南市」には何の違和感がないかも知れないが、位置関係から単に東西南北を割当てただけ。分かり易いと言えようが、大都市の恩恵に預かろうとしたミエミエの浅知恵に思えるのは私だけ？ もっと地域に根付いた、或いは歴史的価値ある独自のネーミングがありそうなもの。「北秋田市」「西東京市」「北名古屋市」「愛西市」「東広島市」「北茨城市」など然り。そして驚くことに「北広島市」は広島県ではなく、北海道に存在するからややこしい。おまけに「北広島町」が広島県にある。どうなってんのかと言いたい。

同音異字の都市名も混乱のもと。北斗市(北海道)と北杜市(山梨)。みよし市(愛知)と三好市(徳島)および三次市(広島)。江南市(愛知)と香南市(高知)。津島市(愛知)と対馬市(長崎)など。加えて、岐阜県山県市(ヤマガタシ)も紛らわしい。

合併による新都市名にも一言申したい。秋田県大仙市(大曲市+仙北郡)、福岡県宮若市(宮田町+若宮町)、長野県東御市(東部町+北御牧村)、茨城県小美玉市(小川町+美野里町+玉里町)のように、お互いの1字を付けて喧嘩両成敗のごとく無難に命名した都市なども個人的には抵抗がある。もっとも平成の大合併のように広域町村の合併による新都市名決定には各々思惑があって難しいと思うが、そこは知恵を絞って欲しい。茨城県「つくばみらい市」「かすみがうら市」や鹿児島県「いちき串木野市」のように長たらしい都市名もカチンとくる。特に限られた枠内に収める場合、枠をはみ出さないか余計な気を使う。

更に、山梨県「中央市」「山梨市」「甲州市」「甲斐市」「南アルプス市」など、その地方の一部に過ぎないのに、さも全体を代表するような都市名には違和感をというよりは腹が立つ。「四国中央市」や「奥州市」「東海市」「伊豆市」「加賀市」「瀬戸内市」「伊予市」「日向市」「南九州市」「沖縄市」など。こういう横柄な都市名は意外に多くお引き取り願いたい。

抽象的な都市名として「みどり市」「さくら市」を挙げたい。特急電車の名称じゃあるまいし、その地域独自の地名や伝統的な呼称があるはずだ。首長や市議会にプライドは無いのかと見識を疑いたい。そうは言っても名前はその内、馴染んでしまうもの。慣れって恐ろしい。

事務局だより

当面の行事予定

- 1) 共催講演会 その1 (別途ご案内)
 日 時：令和3年7月5日 (月)
 場 所：京都テルサホール
 演 題：「夫源病」命名医師が語る、
 ストレスをためない夫婦のありかた
- 2) 共催講演会 その2 (別途ご案内)
 日 時：令和3年9月6日 (月)
 場 所：京都テルサホール
 演 題：ダチョウ抗体の研究で見えてきたこと

京都SKYセンターの ブログに記事掲載

京都SKYセンターのブログ「SKYのあんなことこんなこと」に、同窓研修会の記事を掲載していただきました。ぜひご覧ください。
<https://www.kyoto-sky.net/blog/>

今期の「ざんぐり」編集委員

令和3年度は以下の5名が担当します。
 よろしくお願ひします。

関矢 幸子 井上 昌幸 小林 静枝
 保知 保 村田 潤子

「ざんぐり」次号(105号)の予定

令和3年9月15日(水)を予定していますが、新型コロナウイルス禍のために、変更になる可能性があります。ご了承願ひます。



副会長
米澤 可矢



「ざんぐり」原稿募集

原稿送付先：京都SKYセンター内 同窓研修会「ざんぐり」編集係宛

注：投稿は同窓研修会会員に限ります。

「ざんぐり」は同窓研修会会員の機関誌です。どしどし投稿してください。